

芹ヶ谷公園"芸術の杜"コンセプト(案)

ご意見・アイデアを募集します

町田市では芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館の一体的な整備に向けて検討しています。2019年8月のスタートアップミーティングから始まり、これまで多くの方のご協力を頂きながら、検討を進めてまいりました。

今後、具体的な整備内容の検討を進めるにあたり、このたび芹ヶ谷公園"芸術の杜"のビジョンや全体デザイン等をまとめたコンセプト（案）を作成しました。

次のとおり、みなさまのご意見・アイデアを募集します。ぜひご協力ください。

募集期間

2019年12月16日(月)～2020年1月17日(金)

記入内容 コンセプト(案)に対するご意見・アイデア、性別、世代、お住まいの地区
※市外にお住まいの方も可

提出様式 様式は任意です

提出方法 ・窓口への提出 企画政策課(市庁舎4階)、公園緑地課(市庁舎8階)、
文化振興課(市庁舎10階)、各市民センター・連絡所、
各コミュニティセンター、町田市立国際版画美術館、
各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、
町田市民フォーラム

・FAX 050-3085-3082
・Eメール mcity4240@city.machida.tokyo.jp



〔備考〕

この資料は、『芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK（案）』の概要です。

より詳細な情報を掲載した『芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK（案）』については、町田市ホームページでご覧頂けるほか、上記のご意見提出窓口にて閲覧できます。

お問い合わせ 町田市役所企画政策課
電話：042-724-2103
住所：〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22



ご意見を募集した後、
その内容もふまえて、
2020年3月に
『芹ヶ谷公園"芸術の杜"
プロジェクト
CONCEPT BOOK』
を策定予定です。

1. "芸術の杜"プロジェクトについて

▶背景

今後の町田市の発展にとって若年層・子育て世代に選ばれるということは非常に重要

さまざまな体験を通して子どもたちが地域と共に学び、楽しみ、成長することができる豊かな環境を作ります。

多摩都市モノレールの延伸事業

この機を捉え、「芹ヶ谷公園」の魅力向上を図り、新たな賑わいや交流、豊かさを生み出し、町田市全体のブランド価値の向上を目指します。

町田市立博物館は施設の老朽化により展示事業を終了

その収蔵品を引き継ぎ、ガラスと陶磁器に活動の焦点を絞った（仮称）国際工芸美術館を整備します。



公園と美術館の一体的な整備

芹ヶ谷公園の魅力向上と(仮称)国際工芸美術館の整備にあたっては、公園と美術館をそれぞれ単体として捉えるのではなく、一体的な整備を行います。それにより、公園という市民に開かれた身近な空間が多様なアートに親しむ入り口となることを目指します。

ひらかれたプロセスと持続可能な運営の実現

新しい公園のあり方を考えるにあたっては、一緒に考え、共に創造していく人たちを増やしていくことが重要です。より多くの人にとって魅力的な芹ヶ谷公園となるよう多様な立場や様々な視点からの声を取り入れていきます。

芹ヶ谷公園が継続的に発展していくためには、町田市と共働して事業推進していくことができる先進性と実現性を持ったパートナーを見つけていくことも重要と考えます。それにあたっての事業スキームの検討を進めるとともに、民間事業者へのヒアリングなどにも取り組んでいきます。

これまでの経緯 -関連する計画等-

2011年3月 町田市の博物館等の新たな在り方構想

2014年6月 (仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画

- ◆「魅せる」「楽しむ」「支える」まちの賑わいに寄与する
- ◆基本理念「くらしの中の知恵と美」の探求。ガラスと陶磁器を中心。
- ◆芹ヶ谷公園内(国際版画美術館の北側)に整備すること

2016年3月 芹ヶ谷公園再整備基本計画

- ◆"まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜"
- ◆重点施策である町田駅周辺のまちづくりにおいて、芹ヶ谷公園の魅力を一層向上させることで新たな賑わいを創出

2016年7月 町田市中心市街地まちづくり計画

- ◆"夢"かなうまちへ 10のプロジェクト「町田発アート・カルチャーを楽しむプロジェクト」
- 「周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト」

2. 芹ヶ谷公園"芸術の杜"のビジョン

地域の人にとっての憩いの公園であり、市内外から多くの人を訪れる町田市の顔のひとつとなるような"わざわざ訪れたくなる""何度でも訪れたくなる"多彩な魅力に溢れている、町田を訪れる目的となりえる場。

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園の空間や公園内施設、まちなかと一体となって展開されている。

行政だけでなく多様な主体の参画による高付加価値化、広がりが生まれている。

3. 芹ヶ谷公園の価値と資源

谷戸地形が残る場所

芹ヶ谷公園は思田川へ注ぐ支流の浸食により形成された谷戸地形がそのまま残された公園です。斜面を覆う緑によって独特の囲われ感がつくられ、喧騒を感じさせない空間が保たれています。



谷がつくる緑や水の風景

斜面地にコナラやムクノキ等からなる落葉広葉樹林やシラカシなどの常緑樹林が分布しています。水路や湧水では湿生の植物も見られます。豊かな環境の中に様々な鳥類や昆虫類等も生息し、中心市街地周辺にいながら身近に自然を感じることが出来ます。



谷底が人の集まる場所

豊かな自然を活かした公園として、散策などを中心に市民の憩いの場となっています。国際版画美術館をはじめとし、園内には芸術作品が展示され、アートを楽しめる場としても市民に親しまれています。多目的広場では年間を通じてイベントが開催され、市内外から多くの来園者が訪れるなど、賑わいのある空間が形成されています。



――芹ヶ谷公園に対するイメージ・印象――

公園活用アイデア抽出のプロセスとして実施した「町田を面白がる会_芹ヶ谷公園の未来を考える編」で参加者の方々からいただいた芹ヶ谷公園のイメージや印象です。

※詳細については「芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK(案)」を参照ください。

▶芹ヶ谷公園の魅力や資源について

癒やされる水資源	四季を感じる豊かな自然	生き物がいっぱい
・水を楽しむ環境が子どもにもよい ・水路があるので、もっと活用すべき ・湧き水があるのはいいところ！！ ・水があると豊かな気分になれる	・里山の豊かさ 自然の豊かさ 虫がいる ・朝、暑い日も公園の中が涼しい ・四季が感じられる ・自然がすばらしいが知られていない	・野鳥がたくさんいるのがいい ・カブトムシやザリガニがいる ・自然マップがあるといい
その他	・場所がわかりづらい所が冒険感があっという 下町感 穴場感 ・版画美術館は世界でも珍しい 特性を生かしたほうが良い！！ ・展示会で小中学校とつながっているのも良い！ ・冒険遊び場はこの公園の魅力！	

▶芹ヶ谷公園の課題について

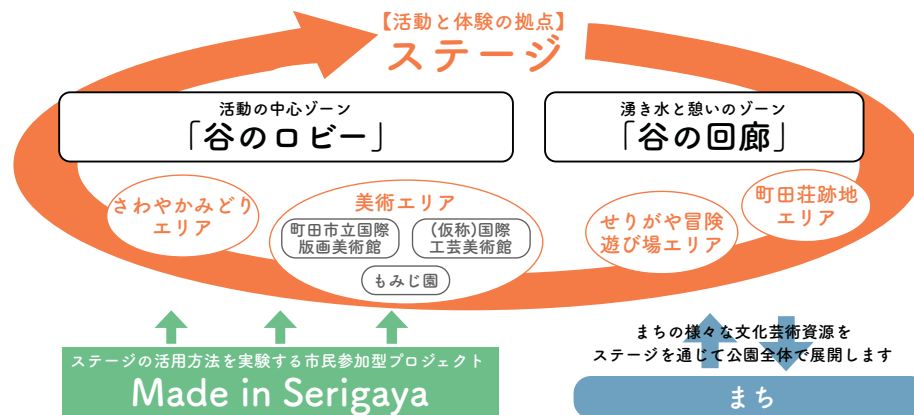
入り口が分かりにくい	町田駅から行きにくい	雨の時に利用しにくい
・駅から遠い ・交通不便 シャトルバスがない ・坂が多すぎる ・道が狭い ・駐輪場と駐車場が少ない	・駅からの道が分かりにくい ・入り口が複数あって分かりにくい ・サインが見えない ・公園が見えない	・雨に弱い ・雨宿りできない ・雨の日に芹ヶ谷冒険遊び場に行けない ・雨の後に道がドロドロになってしまう
自然を楽しみきれない	ファニチャーが少ない	快適性や利便性が足りていない
・谷地形を活かしきれてない ・広場の先がガケになっていて行き止まりのように見える ・奥に進むと面白くなる ・水を活かしきれていない ・19時以降に公園に入れない ・雑草を取ったりすると注意される ・水質がわからず、不安 ・夏は暑い	・座れるところが少ない ・水辺でゆっくりできる所がない	・売店がない ・もっと小さな子どもが遊べる場所がない ・トイレの位置やデザインが良くない ・トイレが汚い
印象が悪い/安全性がない	印象が悪い/安全性がない	その他
・木が多く、暗いイメージ ・怖いイメージがある	・木が多く、暗いイメージ ・怖いイメージがある	・冬に楽しめるコンテンツがない ・デートに行く気がしない ・版画美術館を活かしきれてない

4. 芹ヶ谷公園"芸術の杜"コンセプト

芹ヶ谷公園と（仮称）国際芸美術館を一体的に整備するに当たり、「芸術の杜」のコンセプトを「パークミュージアム」と名付けました。公園の価値と資源を活かし、まちなかの賑わいと連携させていくことで、町田らしい多彩なアート・カルチャーを体現する場となることを目指しています。

パークミュージアムは通常の博物館や美術館のように展示されているものを鑑賞するだけでなく、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園です。公園内の様々な場所に配置される「ステージ」は、それぞれの空間にあわせた特徴や機能を持っています。ステージで展開される活動は多様です。アーティストなどによる芸術活動はもちろん、遊びや憩い、スポーツや交流などもパークミュージアムにおける大切な文化的活動であり、公園に関わる誰もが主体的に関わることができます。パークミュージアムはまさに多彩な町田の文化の集積であると同時に新しい文化が創造されていく場として、誰にとってもいつでも新しい発見ができる場所です。

町田の自然と文化に出会える パークミュージアム



※Made in SerigayaについてはP9を参照ください。

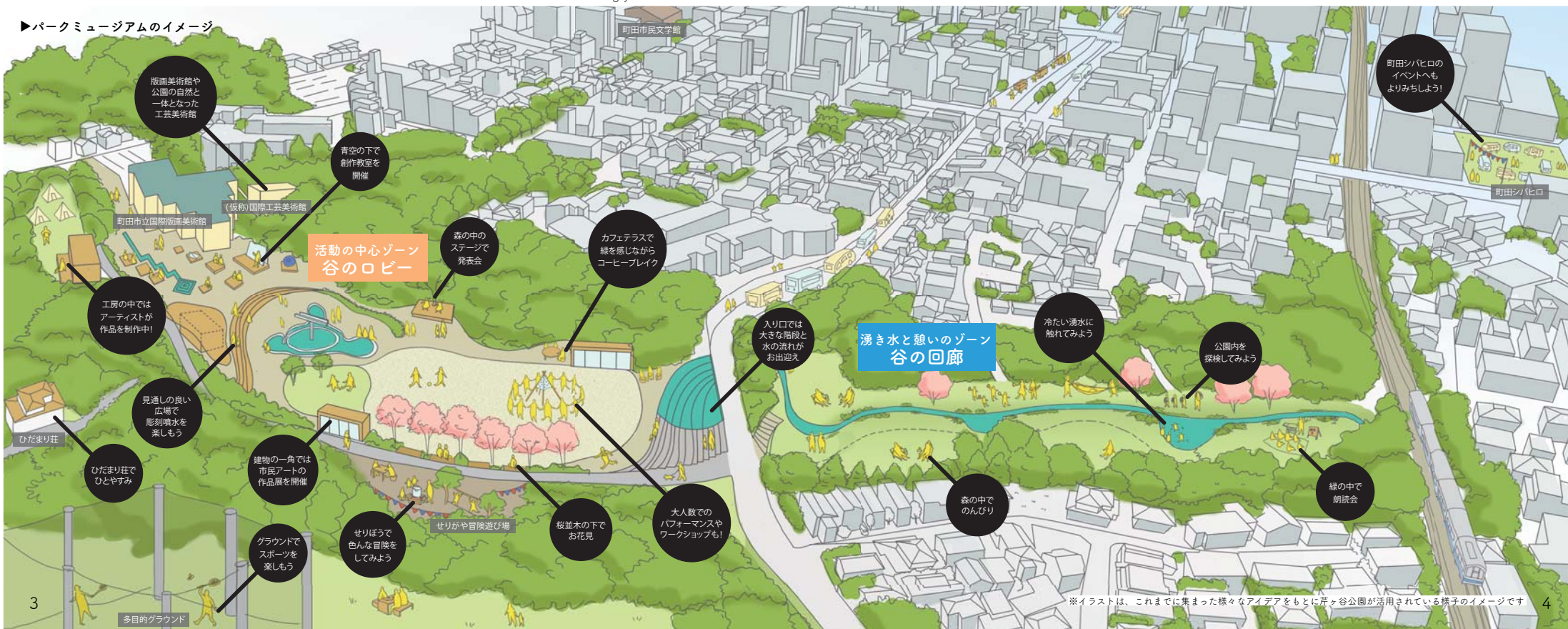
様々な活動 様々な文化芸術と自然の体験型の活動が展開されます



様々なかたち 場所や機能、活用方法などに応じて様々なかたちのステージがうまれていきます



▶パークミュージアムのイメージ

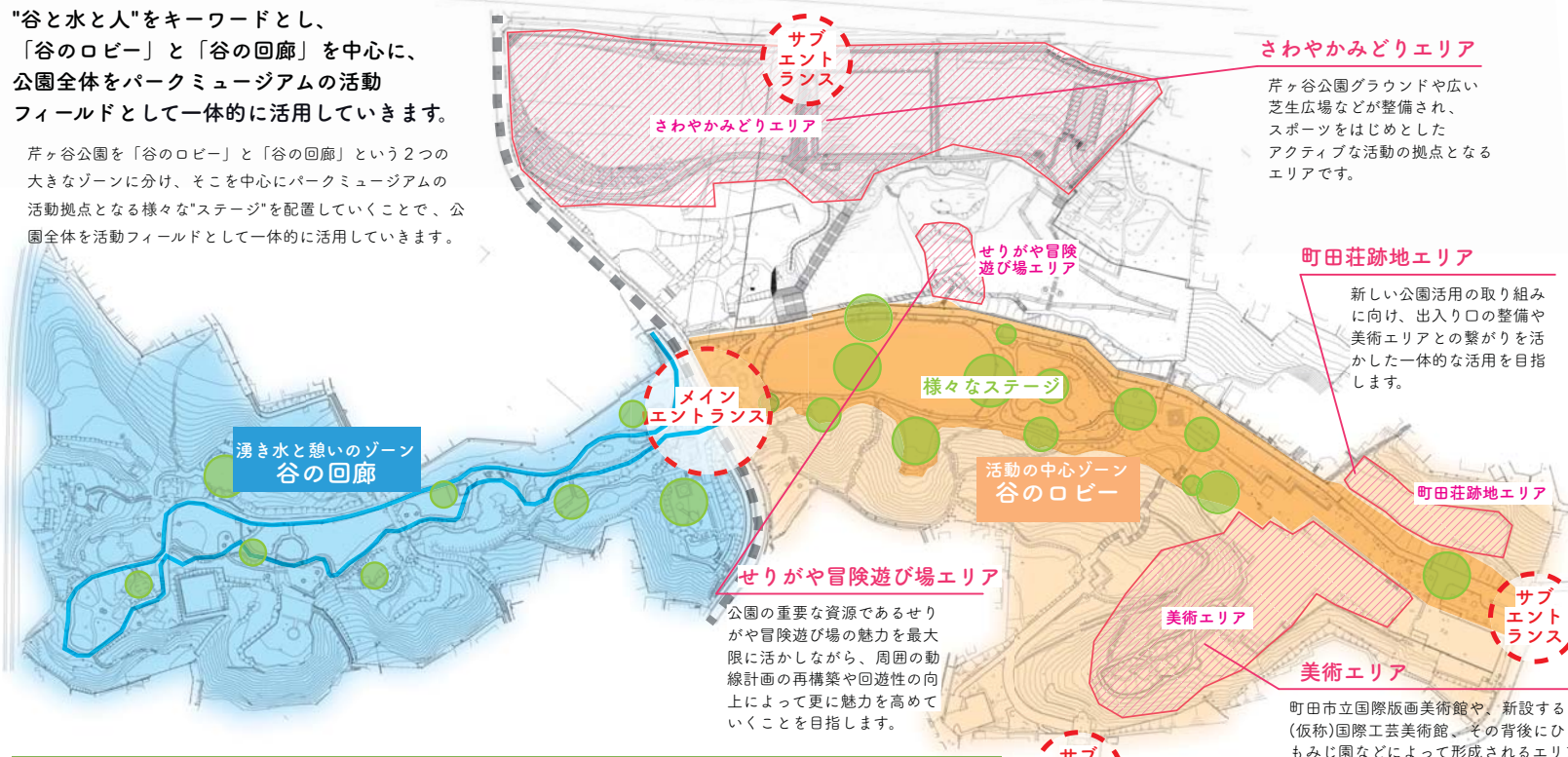


※イラストは、これまでに集まった様々なアイデアをもとに芹ヶ谷公園が活用されている様子のイメージです

5. 芹ヶ谷公園"芸術の杜"公園整備の考え方

"谷と水と人"をキーワードとし、
「谷のロビー」と「谷の回廊」を中心に、
公園全体をパークミュージアムの活動
フィールドとして一体的に活用していきます。

芹ヶ谷公園を「谷のロビー」と「谷の回廊」という2つの
大きなゾーンに分け、そこを中心にパークミュージアムの
活動拠点となる様々な"ステージ"を配置していくことで、公
園全体を活動フィールドとして一体的に活用していきます。



谷の回廊：湧き水と憩いのゾーン

空間の特徴：「静」・「線的」
整備の方針：回遊性を生む線の引き直し、
明るい空間と見通しのある道

谷の回廊は個性ある小さい空間が園路沿いに展開している静
かで落ち着いた空間です。メインエントランス部分を起点に
現在の園路を中心にしながら水の流れとも呼応するような線
の引き直しをおこなっていくことで、園内を気持ちよく回遊
できるように整備していきます。

谷のロビー：活動の中心ゾーン

空間の特徴：「動」・「面的」
整備の方針：ロビー空間の面としての
連続性、様々なステージの導入

谷のロビーは様々なアクティビティが共存するにぎやかな動的
な空間です。美術館や冒険遊び場などのエリアと、様々な公
園のステージが谷のロビーに面している空間構成となります。
谷のロビーの内部や周辺のエリアとの連続性が重要であり、
ステージの整備とあわせてロビーを分断する段差やスロープ
や生け垣などを見直しながら面的な広がりを出します。

6. 緑の整備方針について

① 斜面地

谷の自然環境を大切にすエリア

まとまりのある樹林地となっている
エリアは、芹ヶ谷公園が本来持つ自
然環境を保全するエリアとします。
良好な自然環境維持のために、樹木
の剪定・伐採も含め、適切な管理を
行っていきます。

② 谷底

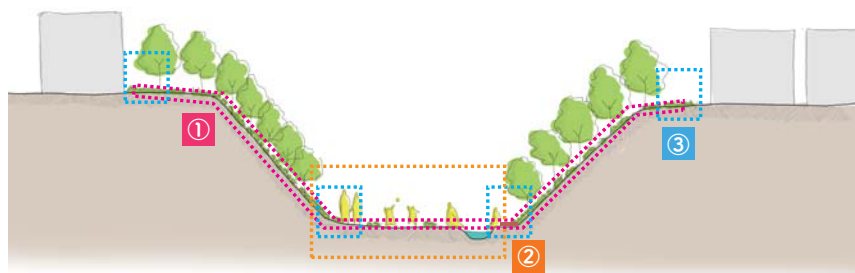
人の居場所を大切にすエリア

谷底は人々の活動を支える場として
見通しの確保や居場所の整備のため
に、中低木を中心に樹木の伐採を行
います。加えて、人々に緑陰や季節ご
と違った風景を提供できるような植
栽を行います。

③ 境界部

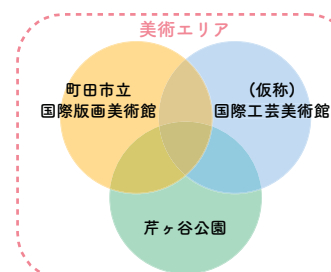
人と緑の関わりをつくるエリア

斜面地と谷底の境界部や街との接点
である園路周りは、谷の自然を楽し
みながらも、来園者が安心安全に回
遊できる動線となるように、地面に
光が差し込むように高木を剪定したり、
視線を遮る中低木の一部の伐採
を行います。



7. (仮称)国際工芸美術館整備の考え方について

新しく整備する(仮称)国際工芸美術館は、
町田市立国際版画美術館と共に公園と連続した
「美術エリア」を形成し、パークミュージアムへ
美術活動を展開するための拠点となります。

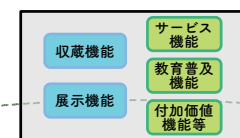


- ・町田市立国際版画美術館、(仮称)国際工芸美術館、
公園の3つが一体となり、美術を介して
コミュニティを育むための拠点を整備する。
- ・公園と連続した回遊性を確保し、
公園を訪れた市民へ身近な美術体験を促す。
- ・機能や空間の連携・共有により、
総合的な価値の向上や、機能の強化を図る。

サービス機能や教育普及機能は公園の中に再配置し、
パークミュージアムの体験と活動のステージとなります。

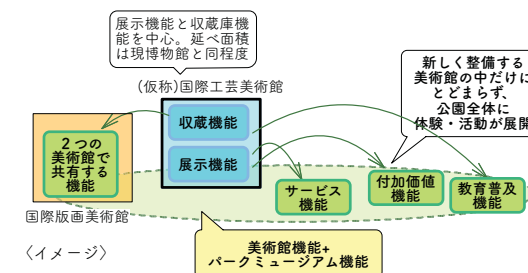
これまでの考え方

〈イメージ〉



全ての機能を1つの
建物内に整備すると
大きなボリューム
になる

(仮称)国際工芸美術館整備の考え方



〈イメージ〉

8. 公園活用アイデア集

この公園活用アイデア集は面白い会等のワークショップ等で出たアイデアをまとめたものです。

近年、公園等の公共空間の活用を取り巻く環境は変化しており、都市公園法の改正による規制緩和など、都市公園を一層柔軟に使いこなす視点が重視されてきています。 芹ヶ谷公園の再整備においても、これまでのルールや固定観念にとらわれず、素直な気持ちでだれもが本当に楽しめる公園の使い方を考えてみる事が重要だと考えます。

まずは、多様な人の柔軟な発想による「こういうことがしたい」「こういう空間が欲しい」というアイデアをより多くの人と共有することで、多くの人に愛され本当に使われる公園の将来像を探っていきます。

※詳細については「芹ヶ谷公園”芸術の杜”プロジェクト CONCEPT BOOK(案)」を参照ください。



No.	Category	source	
1	自然体験	ツリーハウス/木のぼり/サバイバル体験/水遊び	
2	自然体験	グランピング/ライトアップ/キャンプファイアー/夜空を楽しむ	
3	自然体験	自然マップ/虫とり/釣り堀/ドッラン	
4	芸術	パフォーマンスできる場所/誰でも使えるビアンノ/野外ステージ	
5	芸術	公園の土で陶芸/絵を描ける/秘密基地/気球/木工/家づくり	
6	芸術	公園で生まれたアートを展示/市民展示/アート教育	
7	遊び	お化け屋敷/壁打ち/らくがき/ドローン/花火/大規模実験	
8	遊び	雪を集める/ウォータースライダー/水はけのいいベンチ/屋根	
9	食	カフェ/マルシェ/お茶づくり/芹ヶ谷ビール	

No.	Category	source	
10	快適	巨大ソファでリラックス/本を読む/ベンチに屋根/ハンモック	
11	快適	Wi-Fiベンチ/公園専用ラジオ/防災対策	
12	快適	子どもだけのエリア/抛り所/芹ヶ谷お母さんDay/見守りシェア	
13	交流	虫と交流/社交場/哲学カフェ/デートに最適なベンチ	
14	働く	コワーキングパーク/お母さんの働く場所/出店できる	
15	学ぶ	公園学校/青空図書館/芹ヶ谷教室/面白い大人公園	
16	イベント	フェス(フード、ヨガ音楽、スクール)/パブリックビューイング	
17	スポーツ/健康	ヨガ/サバゲー/毎日運動会/サウナ/手ぶらでスポーツ体験	
18	菜園/農園/ガーデニング	菜園公園/農産物直売所/段々畑/森と水を活かした農園/花、自然	
19	移動/まち	公園の様々な入り口を楽しむルート/ミニバス/レンタサイクル	
20	仕組みづくり	公園サポーターポイント/クラウドファンディング/自分たちでルールを決める	

芹ヶ谷公園"芸術の杜"をこれからもより多くの方に愛される魅力ある公園として維持していくために

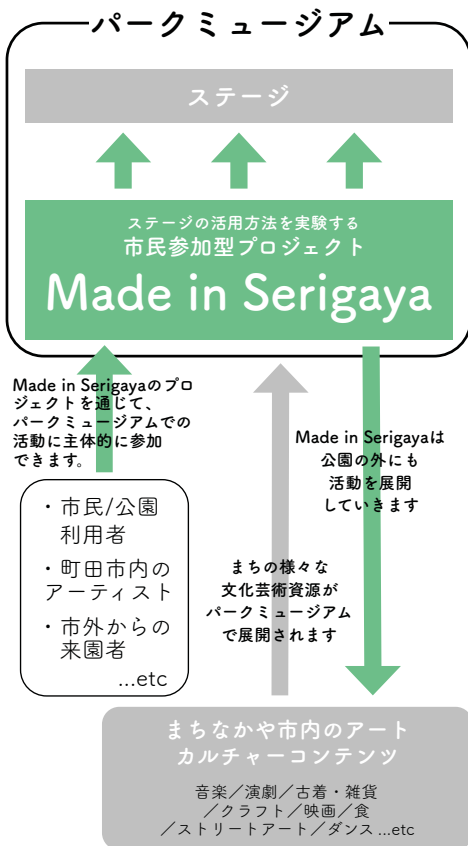
町田市では、この公園整備の方向性を行政や一部の関係者だけで考えるのではなく、今の公園を利用している方、公園の新たな活用に関心のある方、近隣で事業を担っている方、自然に想いのある方、将来を担う若い世代などと、より多くの方と一緒にすすめていきたいと考えています。検討を開始するにあたり8月に実施したスタートアップミーティングでは、目指す二つのアイ「♡とI」（♡=より多くの人に愛される公園に、I=この公園の将来やプロジェクトを「自分ゴト」として捉え、一緒に考え、活動する仲間を増やす）についてお伝えしました。



その後、多くの方のご協力とたくさんの夢とアイデアに支えられてこのコンセプト案がまとまりました。

面白がる会	若い世代との取り組み	アンケート	ヒアリング
肩書や世代などを越えてフラットに公園の未来や活用のアイデアを語り合うために、前後編＋番外編の計3回を開催。老若男女多世代の方々にご参加いただきました。 延べ107名参加	町田の未来を考える若者グループや市内の学校との連携 ・MSP(町田創造プロジェクト) ・桜美林大学芸術文化学群 ・都立小川高校1年生 	・時代祭り・ゆうゆう版画美術館まつり来場者 ・芹ヶ谷公園で開催した文化プログラム参加者 ・子どもセンターまあち利用者 ・芹ヶ谷公園利用者 計316名	・中心市街地事業者 ・多摩美術大学学生 ・アーティスト ・イベント主催者 ...etc 計30名

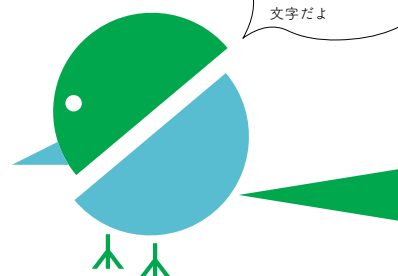
9. みんなが参加できる仕組みづくり~Made in Serigaya~



パークミュージアムの実現にむけて、様々な"公園で○○したい"という声を集め、実際に実験的な取り組みをおこなっていく市民参加型プラットフォームが「Made in Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」です。

ここから生まれたアイデアやプロジェクトは、実際にパークミュージアムの取り組みのなかに引き継がれていくことを目指します。芹ヶ谷公園から市民が主体となって町田の文化や自然の魅力を発信し、さらに芹ヶ谷公園から新しい文化を生み出していこうという思いから「Made in Serigaya」と名付けました。

▶シンボルマーク

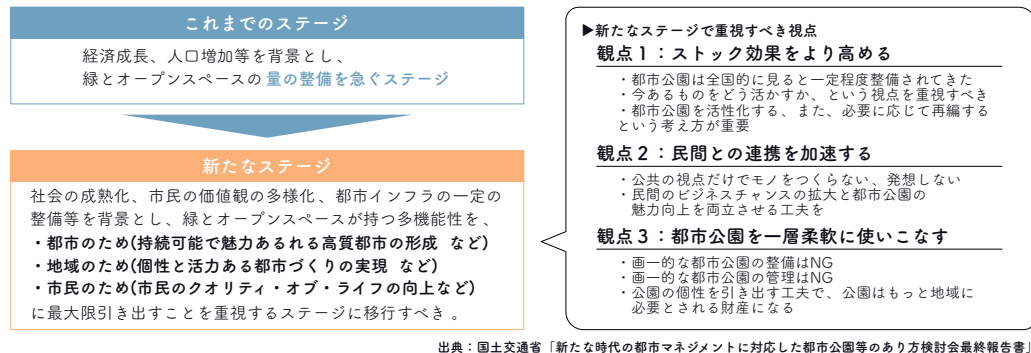


Made in Serigaya
メイドイン芹ヶ谷

豊かな木々の「みどり」と湧水の「みずいろ」芹ヶ谷の「S」のかくれ文字だよ

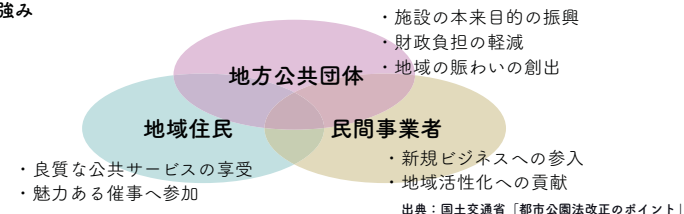
10. 持続可能な運営手法について

▶社会情勢の変化等に対応するため、公園緑地行政は新たなステージへ移行が求められています



▶官民連携／民間活力の導入による強み

民間の資金、能力やノウハウを活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも、効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる可能性があります。



芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクトにおいても、事業化までの各段階において何度も事業者と対話を行い、民間事業者が受け入れ可能な事業スキームに落とし込んでいくことが重要です。手法ありきで検討を進めるのではなく、対話を重ねることでのどのようなスキームが芹ヶ谷公園"芸術の杜"に相応しいのかを検討していきます。

11. 今後の予定(スケジュール)

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3			
【Made in Serigayaの取り組み】					
【フェーズ1】 アイデアを集める	【フェーズ2】 仕組みを考える /仲間を集める	【フェーズ3】 試しに色々 やってみる(実証実験)	【フェーズ4】 活動を育てていく/拡げていく		【フェーズ5】 実装/ 続けていく
継続的に実証実験として活動を展開しながら 活動やコミュニティを育て拡げていく					
案 → 完成 案 → 完成					
芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK (案) 芹ヶ谷公園"芸術の杜" マスタープラン					
【芹ヶ谷公園第二期整備】					
リサーチ	基本設計		実施設計		
【(仮称)国際工芸美術館新築工事】					
基本設計要件整理					
基本設計					
実施設計					
工事期間					
2024年度 芹ヶ谷公園第二期整備 オープン					
工事期間					
2024年度 (仮称)国際工芸美術館 オープン					